

みどりの食料システム戦略の市民レベルへの浸透を図る取組

みどりの食料システム戦略の市民レベルへの浸透を図るため、県内の地域イベントに参加するとともに、県内小中高等学校等において出前授業を積極的に実施。また、JAの機関誌等も利用。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

政策の周知は、これまで自治体や農協等の団体向け周知が中心で、その先の市民レベルの周知が課題であった。

○ 取組の内容

【取組①：イベントでの周知】地域で開催される市民イベントに参加し、チラシ等の配布を行った。（令和6年度実績：南足柄市環境フェア、横浜北仲フェス、大和市環境フェア、横浜市農と緑のふれあい祭り、相模原市農業まつり）

【取組②：出前授業での周知】学校等で児童・生徒等に出前授業を行った。（令和6年度実績：小学校4校、中学校2校、農業高校4校、農業アカデミー1、市民農園青空教室1）

【取組③：機関誌の誌面、郵便物での周知】機関誌の誌面等（令和6年度実績：JA横浜、秦野市、伊勢原市、湯河原町）、郵便物での周知（令和6年度実績：NOSAI神奈川）

○ 効果・成果、今後の方向性

取組①では、市民イベントは来場者が多いものの、子ども達の関心を集めるのが課題で、当拠点では塗り絵やシール等をチラシと一緒に配ったが、今後はゲーム等も検討する必要がある。

取組②では、90%を超える児童・生徒が「よく分かった」、「分かった」とのアンケート結果を得た。



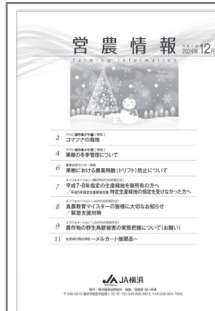
イベントでのチラシ配布



小学校での出前授業



市民農園の利用者に
みどり戦略の説明を
行う様子（青空教室）



JA横浜が発行する
「営農情報」12月号に
「みどりチェック」
のチラシを掲載

